暫 定 版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

予算審査特別委員会総務分科会記録

日	令和7年2月19日（水）（第1回定例会）			
時	午後5時37分 開議（ 休 憩 な し ） 午後5時40分 散会			
場 所	第1委員会室			
出席委員	伊 藤 隆 広	渡 辺 忍	黒 澤 和 泉	山 崎 真 彦
	桜 井 秀 夫	佐々木 友 樹	米 持 克 彦	石 橋 毅
	三 瓶 輝 枝	野 本 信 正		
欠席委員	な し			
担当書記	木 下 哲 央	渡 辺 直 毅		
説 明 員				
協議案件	指摘要望事項の検討			
そ の 他				
主 査 伊 藤 隆 広				

午後 5 時 37 分開議

- 主査（伊藤隆広君） ただいまから、予算審査特別委員会総務分科会を開きます。
本日の審査日程につきましては、指摘要望事項の検討でございます。

指摘要望事項の検討

- 主査（伊藤隆広君） 委員の皆様には、これから予算審査特別委員会総務分科会としての指摘要望事項の検討をお願いいたします。

まず、正副主査案を副主査より発表させていただきます。渡辺副主査。

- 副主査（渡辺 忍君） 指摘要望事項案、総務分科会、財政局。1、財政については、財政調整基金の取崩しを行うなど、厳しい予算編成となっているが、引き続き、各種財政指標に留意し、中期財政運営方針を踏まえた財政運営を行われたい。

また、今後も多額の財政需要が見込まれる公共施設等の老朽化対策については、公共施設等総合管理計画の改訂等を通じて効率的な施設の維持管理手法を検討するとともに、有利な財源を最大限に活用して経費の縮減に努められたい。

総合政策局。2、防災・減災対策については、防災アセスメント調査の結果を踏まえ、家具転倒防止対策や防災備蓄品、災害時応援協定をはじめとした災害対応力のさらなる強化を図られたい。

また、被害認定調査システムについては、迅速な被災者支援につながるものであることから、早期の導入と確実な運用に努められたい。

以上です。

- 主査（伊藤隆広君） 正副主査案については以上ですが、いかがでしょうか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

- 主査（伊藤隆広君） 指摘要望事項については、以上のとおり決定いたします。

なお、分科会報告の作成等につきましては、正副主査に御一任願います。

以上で、予算審査特別委員会総務分科会を終了いたします。

長期間、慎重審査ありがとうございました。

午後 5 時 40 分散会